

くにうみ AI 証券、2025 年秋以降に金融商品のラインナップを拡充 大手ヘッジ・ファンドの資金受け入れ停止により中規模ファンドへの投資機会高まる

海外の大手ヘッジ・ファンドでは、新規資金の受け入れが難しくなっている半面、それに次ぐ中規模ヘッジ・ファンドが、その資金を取り込み成長する機会となる投資先として注目が集まっています。

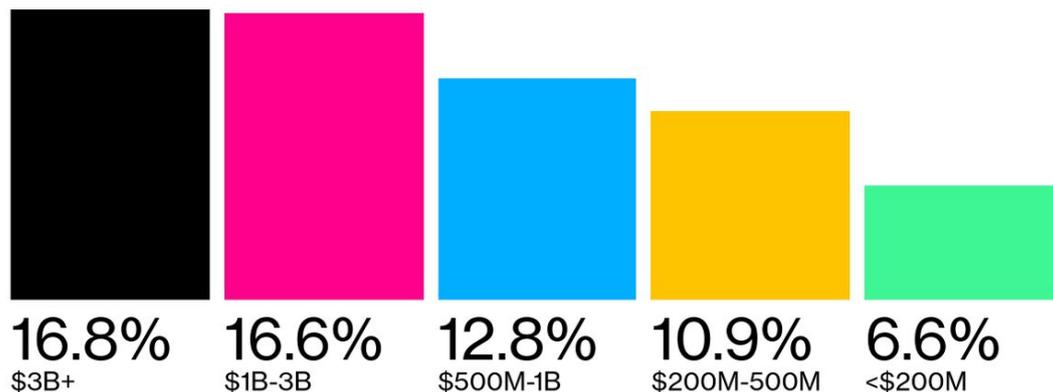
近年、運用額 500 億米ドル超の大手ヘッジ・ファンドの一部が、相次いで顧客に数十億米ドル規模の資金を返還しています。くにうみ AI 証券株式会社(本社:東京都千代田区丸の内、代表取締役社長:李 遠)が取り扱っている大手ヘッジ・ファンドの 1 社でも、新規資金の受け入れ停止に加え、昨年末に年間の利益分を顧客に返還しました。また別のもう 1 社も新規資金の受け入れを停止しています。

理由は、資金過多になることにより、機敏性が低下しパフォーマンスの悪化を警戒していることが挙げられます。しかし、顧客へ定期的に資金が返還されることは投資家にとって一概に良いこととは言えません。受取金は顧客の利益となりますが、別の投資先を見つけられない限り、再投資効果が失われてしまうからです。

一方、中規模ファンドは、大手ファンドと比較して機敏性が高く、柔軟な運用が可能となっています。さらに、高水準の流動性と透明性を保ちながらも、大手ファンドと同等のパフォーマンスを実現しているものが多数存在しています。中規模ファンドは、厳しい競争に勝ち残るため、運用の独自性を前面に打ち出す点も特徴となっています。

Hedge Fund Returns by Size (ヘッジ・ファンド規模別リターン)

Hedge funds posted highest annual gains in four years in 2024



Source: CITCO

Note: Weighted average return

くにうみ AI 証券では、今秋以降に金融商品のラインナップを拡充し、大手ファンドを追従し得る、主力マルチ・ストラテジー・ファンドを新規に導入する予定です。

くふうみ AI 証券は、海外資産運用会社と提携し、国内個人投資家などへ海外オルタナティブ投資への機会を提供しています。海外のヘッジ・ファンド、プライベート・エクイティ・ファンド、プライベート・クレジット・ファンドなど、株式・債券市場の動向に影響を受けにくい、長期安定投資向き金融商品を取りそろえています。

【くふうみ AI 証券会社概要】

- ・会社名:くふうみ AI 証券株式会社
- ・代表者:代表取締役社長 李 遠
- ・登録番号:金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 1627 号
- ・加入協会:日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
- ・事業内容:オルタナティブ投資商品の取り扱い、有価証券の委託売買、M&A アドバイザリー
- ・設立年月:2007 年 2 月 22 日
- ・本社:東京都千代田区丸の内二丁目 2 番 3 号丸の内仲通りビル 6 階
- ・URL:<https://www.kuniumiai-sec.co.jp/>
- ・資料請求: <https://www.kuniumiai-sec.co.jp/contact/form/>
- ・TEL:03-5288-6766(代表)
- ・TEL:03-5288-6800 オルタナティブ・インベストメント・プロダクト(AIP)部直通

【広告審査番号:AD2025123】